

## 地震・火山および津波に関する 気象庁職員著作目録 (1970年)

### List of Contributions from J. M. A. on Earthquakes, Volcanes and Tsunamis (1970)

- Arakawa, Y. and S. Suyehiro: Regional Seismicity before the Matsushiro Earthquake Swarm; *Papers Met. Geophys.*, 21, 33—44.
- 弘中清・真野幸男・河野俊雄: 浜田の地震記象からみた西日本の活動域について, 験震時報, 34, 91—98.
- 広野要蔵: 第1章 津波の概説, 第2章 津波を起こす地震, 第3章 津波の発生, 第7章 津波の災害と対策, 津波・高潮・海洋災害 (和達清夫編), 共立出版, 1—15, 17—30, 31—49, 189—208.
- Ichikawa, M.: Seismic Activities at the Junction of Izu-Mariana and Southwestern Honshu Arcs, *Geophys. Mag.*, 35, 55—69.
- 市川政治: 地震モーメントと余震域・波源域, 験震時報, 35, 143—147.
- 市川政治: 関東地方南部の地震活動, 地学雑誌, 79, 151—166.
- 出淵重雄: 日本南西部の地震観測網について, 福岡管区気象台技術通信, 16, 449—459.
- 出淵重雄: 硫黄島火山について, 福岡管区気象台技術通信, 16, 226—233.
- 石田泰治・加藤喜康: 神津島付近の群発地震について, 験震時報, 34, 151—156.
- 勝又護: 日本列島およびその周辺におけるサイスミシティとそれに関連する諸問題, 験震時報, 35, 75—142.
- 門脇孝延: 59型インク書き電磁地震計の細書きと記象紙面のごみの除去法について, 測候時報, 37, 273—275.
- 木下正時: 桜島火山活動の一考察 (その2) 福岡管区気象台技術通信, 16, 46—52.
- 木下正時: 桜島火山活動の一考察 (その3) 福岡管区気象台技術通信, 16, 305—406.
- 木下正時: 桜島火山活動の一考察 (その4) 福岡管区気象台技術通信, 16, 405—406.
- 気象庁・岐阜地方気象台: 昭和44年9月9日岐阜県中部地震調査報告, 験震時報, 34, 157—176.
- 松島馨: 秩父の地震について, 験震時報, 34, 125, 130.
- 村山信雄: 大地震によって生じた気圧微振動の観測, 験震時報, 34, 131—143.
- 岡田正実: 地震のマグニチュード別度数分布について——地震の上限についての統計的考察——研究時報, 22, 8—19.
- 大籠信雄: 震源分布からみた九州の地殻構造と延岡の記象, 験震時報, 34, 113—124.
- 大籠信雄: 常時微動と地震記象について, 験震時報, 16, 235—241.
- 太田芳夫: 濃尾地震の今昔について, 験震時報, 34, 145—149.
- 札幌管区気象台・仙台管区気象台: 1969年8月12日北海道東方沖の地震調査報告, 験震時報, 35, 15—35.
- 沢田可洋: ガス検知管法による火山分析 (第1報), 35, 1—13.
- 沢田可洋: ガス検知管法による火山ガス分析 (第2報), 験震時報, 35, 55—64.
- 関谷溥: 1923年関東震央の前震と余震について, 地学雑誌, 79, 175—180.
- 清水邦夫: 鹿児島島の地震記象からみた地震活動域について, 験震時報, 34, 99—111.
- Suyehiro S.: Pseudo Dispersion in Body Waves and Unusual Region near Northeast Japan, *Papers Met. Geophys.*, 21, 459—461.
- 末広重二・古田美佐夫・佐藤馨・広野卓蔵: 地中地震計によるバックグラウンドノイズの研究 (第3報) 気象研究所研究報告, 21, 473—487.
- 諏訪彰: 日本の火山活動とその観測, 地熱, 23, 27—34.
- 諏訪彰: 日本の火山観測事業の発展, 地理, (上) 15—5, 66—71, (下) 15—6, 70—76.
- 竹田邦子 (訳): ラッター: 自然災害—地震・火山噴火・津波—, 測候時報, 37, 212—226.
- 田村竹男: 建久三年四月十三日 (1192年5月26日) の津

- 波, 測候時報, 37, 311—313.
- 田中康裕: 伊豆大島の地震計測学的研究(III)——噴火、微動・前駆地震・A型地震——気象研究所研究報告, 21, 243—289.
- 田中康裕: Vulcano式噴火活動における大爆發の起こり方について, 験震時報, 35, 41—54.
- 田沢堅太郎: 1969年の三原山の噴火について, 験震時報, 35, 73—74.
- 土高茂: 豊岡における地震の特性, 験震時報, 34, 87—90.
- Watanabe, H.: Statistical Studies of Tsunami Sources and Tsunamigenic Earthquakes Occurring in and near Japan, Tsunami in the Pacific Ocean (Proceedings of the International Symposium on Tsunamis), East-West Center Press (U. S. A.), 99—117.
- 渡辺偉夫: 第4章 津波の観測, 第5章 津波の伝搬, 第6章 津波の実例, 津波・高潮・海洋災害(和達清夫編) 共立出版, 51—72, 73—118, 119—187.
- 渡辺偉夫: 1963年十勝沖地震の余震, 発震機構および津波の波源, 験震時報, 35, 149—156.
- 渡辺偉夫: 南関東沿岸の津波, 地学雑誌, 79, 167—174.
- 山岸登: 松伏地震の規模 $M$ と最大有感距離 $L$ , および他の地震との関連性, 地震, II, 23, 61—71.
- 山本復太郎・辺見克巳: 八戸港の津波について, 研究時報, 22, 429—434.
- 山内義敬: 樽前山の電磁地震計に記録された大砲の振動, 験震時報, 35, 37—40.
- 吉留道哉: 桜島における有感A型地震と弱線形成について, 験震時報, 35, 65—72.
- 湯村哲男・広野卓蔵・和達清夫: 日本付近における地震帯の構造について, 地震, II, 23, 99—121.